

# 大田区職員9条の会ニュース

第105号 2015年12月19日 編集 大田区職員9条の会事務局  
大田区職員労働組合気付

## 日本全国で 『米軍基地はいらない』 の声を！

### 岩国米軍基地を知っていますか？

私は全労協青年委員会の一員として、11月28日・29日にAWC（アジア共同行動日本連絡会議）と15岩国・労働者反戦交流集会実行委員会が主催する「岩国行動2015」に参加して来ました。

突然ですが、あなたは『日本にある米軍基地は？』と聞かれると、どこの基地を思い浮かべますか？ 普天間（沖縄）や厚木・横須賀・座間（神奈川）、横田（東京）などを思い浮かべる人が多いと思いますが、そのほかにも三沢（青森）・佐世保（長崎）・嘉手納（沖縄）など日本国内には数多くの米軍基地があり、このほかにも関連施設がたくさんあります。

その中で沖縄県と政府の対立によって沖縄県辺野古の米軍新基地建設が全国的に注目され、報道にも多く取り上げられています。その一方で地元以外ではあまり知られていないものの、着々と基地機能の強化が進められているのが『米国海兵隊岩国航空基地（山口）』なのです。



岩国基地全景

### 今、何が起きているの？

岩国市では、2006年の住民投票で厚木基地からの空母艦載機部隊の移転反対という結果が出たにも関わらず、岩国基地では2017年に予定されている移転のための準備が着々と進められています。現時点でも既に空中給油機と空母艦載機12機（将来的には15機に増える予定）が配備され、本来禁止されている市街地での低空飛行訓練などが行なわれています。また、オスプレイがたびたび飛来し、将来は米軍の主力機になると言われる最新鋭戦闘機F35（垂直離着陸できる戦闘機）用の離発着場も建設されています。

歴史的に見ても岩国市は政府や米軍によって翻弄されてきました。岩国市では、1997年に『愛宕山開発と滑走路沖合移設事業』がスタートしました。この計画は市の中心部に近い愛宕山を削ってその土砂を基地の沖合の埋立てに利用し騒音被害軽減のため滑走路を1km沖合に移設させること、愛宕山掘削後の跡地にニュータウンを開発することを並行して進めるというものでした。

その計画が進んでいた2006年に、厚木基地からのF/A-18戦闘攻撃機などの空母艦載機部隊の移転計画の是非を問う住民投票が行なわれ、反対が87%という結果となったのです。すると翌2007年に愛宕山の土砂搬出が終わるやニュータウン開発は突然中止になり、県と市に250億円も

の負債が残されました。この状態でしばらく放置された後、国・防衛省はニュータウン開発予定地を米軍住宅建設地（軍用地）とするために買取りました。2012年のことです。以来、米軍住宅建設が進められ、2017年度には岩国基地に配属される米兵（軍属、家族を含む）は現行の約5千人から



1万人に増える見込みとなっています。これは岩国市の人口の約1割にもものぼります。

そればかりではありません。総務省は自衛隊や在日米軍の基地や施設がある市町村に基地交付金と調整交付金（2015年度は総額345億4000万円）を交付していますが、それとは別に岩国市には防衛省からこれまでに合計1000億円以上の予算が投入されていて、『基地依存症状態』にされているのです。

## 私たちに何ができるの？

私は28日に「岩国☆希望の祭」に参加し、地元や沖縄のミュージシャンの演奏や地元で基地反対運動を続けている人たちの訴えなどを聞くことができました。29日には集会に参加した約100名の人たちと一緒に岩国市内でのデモ行進に参加しました。その中には、フィリピン・韓国・スコットランドなど海外から参加している人もいて、「基地はいらぬという気持ちは、日本人だけじゃないんだな。」と思いました。

私たち一人ひとりが個人としてできることは限られているかも知れませんが、周りの人たちと米軍基地のことを話したり、実際に基地がある岩国市や福生市（横田基地）、大和市（厚木基地）を訪れたり、デモに参加したりなど、一歩を踏み出すことはできると思います。大切なのは、一人ひとりが「考えて、声をあげ、行動すること」ではないでしょうか？（課税課 西山康彦）



11月29日（日）午後、日比谷野外音楽堂で、「止めよう！辺野古埋立て 国会包囲実行委員会」の主催で「辺野古に基地は造らせない大集会」が開かれ約4500人の労働者市民が参加、大田区職労からも10人ほどの組合員が参加しました。

会場の周辺には入場制限で会場に入れない集会参加者があふれる中、沖縄から駆け付けた団体の代表らは沖縄の米軍基地前で連日取り組んでいる抗議行動を報告し、「民意を無視して、アメリカに従う政治はアベコベ政治だ」「沖縄は安倍政権と真っ向から対立している。辺野古の新基地阻止、安保法制の廃止、原発反対、反TPPの四つの闘いで安倍政権を倒そう」と様々な闘いの結や、「安倍政権が民主主義、憲法、地方自治、人権をつぶそうとしている」「沖縄と同じように全国で、労働組合と市民が一緒になって、辺野古の基地を止め、安保法制阻止のための共同をつくっていきたい。安倍政権を打倒するために頑張りましょう」と全国での連帯の必要性を力強く訴えました。

